



常識的な点数を（笑）

▼5月21日（月） ●●

テンションが一日を通して高かったです。合唱練習ももっとちゃんとやってほしいな。体育のあとの英・●●Tはつらい!!

☆じじい → いかリング（金環日食）

▼5月22日（火） ●●

月曜日に日直がよかったなあ～。ヒマだし。今日はいつも通り元気な15Rでした。授業も数・英がなくて、OCがキャロルだったので、楽な一日でした。よかったです。

☆いかリング → ぐるぐる回る地球

▼5月23日（水） ●●

元気で楽しい15Rだった!! これからも↑↑でいきたい。

☆ぐるぐる回る地球 → 牛

▼5月24日（木） ●●

今日から部活もなくなるから、ちゃんと勉強しようと思うけど、●●先生が1週間前は手遅れっていったから萎えました。

☆牛 → 少女時代

▼5月25日（金） ●●

音楽が至福の時でした。なんかもうテスト勉強がヤバすぎて、危機感すら無くなりそう…。音楽で最後に先生にほめられたので、うれしかったです。

☆少女時代→胃がきりきり痛む日々

*

金曜日に●●さんが「胃がきりきり痛む日々」としりとり欄に書いているが、この日々は考査終了とともに終わるのだろうか？それとも、答案が返却される日まで続くのだ

ろうか、はたまた、期末まで…年度末まで…入試まで…と続くのだろうか？（笑）

しかし、考査が大変だからこそ、それが終わった日の解放感も大きなものがあるのだ。今回の考査が終われば、次の考査は夏休み明け！ それまで精一杯色々なこと…合唱祭の練習、部活、星陵祭準備、自分の好きなこと、などに取りかかれるのである。その喜びを大きくするためにも、とにかく残りの時間を大切に、できる限り努力してみよう。

不得意な科目は心配だろう。例えば、数学が不得意ですごく不安な人もいると思うが、実際にテストが返却されると、自分よりもさらに低得点の人がいたりして、「日比谷にはとてつもなく数学が不得意な人がいるのだなあ（をるなりけり）」と気づいて感動＝詠嘆？するかも知れない。一方、例えば英語に自信がある人が、テストでも結構いい点がとれた感触があってワクワクしていると、答案返却の時に、自分以上にスゴい点数を取った人がいることがわかったりして、これまたビックリといった事態になることもあるに違いない。（ちなみに、英語は全国超トップレベルだから、考査でいい点が取れば、それはそのまま全国で通用することを意味する…）

考査後には、2回目の個人面談が予定されている。楽しみである。もちろん考査結果をもとに、低得点科目を話題にして君たちを「いじめる」わけである。ははは。私に「楽しい」思いをさせないためにも、ぜひ常識的な点数をとってもらいたいものがある。